

第99回東北地方交通審議会
船員部会 議事要録

平成29年 1月27日
東北地方交通審議会
船員部会事務局

東北地方交通審議会

第 9 9 回 船員部会

日 時 平成 2 9 年 1 月 2 7 日 (金) 1 6 : 0 0 ~

場 所 仙台第 4 合同庁舎 4 階会議室

出席者 公益委員 : 長谷部部会長、高橋(真)部会長代理、
佐々木委員、森委員
労働者委員 : 正路委員、高橋(雅)委員、津田委員
使用者委員 : 齋藤委員、白幡委員(欠席)、平岡委員

運輸局 : 菅原海事振興部長、阿部海事振興部次長
峯田船員労働環境・海技資格課長
澤村船員労政課長、佐々木労政係長

議 題 (1) 船員の特定最低賃金の改正に係る東北地方交通審議会の意見に
関する公示について

(2) 管内の雇用等の状況について

(3) その他

配付資料

- 資料 1 船員の特定最低賃金の改正に係る東北地方交通審議会の意見
に関する公示
- 資料 2 船員職業安定業務取扱状況説明資料(平成 2 8 年 1 1 月分)
- 資料 3 新規求人・求職数(東北管内: 3 年対比)
- 資料 4 有効求人・求職数(東北管内: 3 年対比)
- 資料 5 新規求人・求職数(全国)
- 資料 6 有効求人・求職数(全国)
- 資料 7 有効求人倍率(東北管内)
- 資料 8 有効求人倍率(全国)
- 資料 9 平成 2 9 年度東北地方交通審議会船員部会開催予定日(案)
- 資料 10 新聞情報

議 事 概 要

◎開 会

【阿部海事振興部次長】

〔第99回船員部会の成立状況について報告〕

〔配付資料確認〕

◎議 事

(1) 船員の特定最低賃金の改正に係る東北地方交通審議会の意見に関する公示について

【長谷部部会長】

それでは、議事に入ります。

お手元にあります議事次第の「議題(1) 船員の特定最低賃金の改正に係る東北地方交通審議会の意見に関する公示について」、事務局から報告願います。

〔澤村船員労政課長から資料1に基づき報告〕

【長谷部部会長】

ありがとうございました。

前回の答申案に基づく最低賃金の改正です。何かご意見等ございますでしょうか。

なければ、ご了承いただいたということで、次に進みたいと思います。

(2) 管内の雇用の状況について

【長谷部部会長】

次に、「議題(2) 管内の雇用の状況について」事務局からお願いいたします。

〔澤村船員労政課長から資料2から資料8に基づき報告〕

【長谷部部会長】

どうもありがとうございました。

何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

【高橋(雅)労務者委員】

「資料2」の3ページの「東北管内取扱件数総括表」の中で、「求人」の「漁船」の「その他」が10件ほど増えています。どのような業種の求人なのでしょうか。

【澤村船員労政課長】

実習船ですね。宮城県と青森県、福島県でそれぞれ募集がありまして、多い状況になっております。

【高橋(雅)労務者委員】

職種は何でしょうか。

【澤村船員労政課長】

職種ですね。甲板は職員・部員、機関部も職員・部員と、あと通信もですね。

【高橋（雅）労務者委員】

全てですか。

【澤村船員労政課長】

全てです。事務部まで含めて全て募集がありました。

【高橋（雅）労務者委員】

実習船も船員が高齢化してきているのではないかと思います。

【長谷部部会長】

いろいろとありそうですね。いろいろなことが顕在化していると思われます。

ほかにいかがでしょうか。

ありませんでしたら、ご了承いただいたということで、次に進ませていただいでよろしいですか。（「はい」の声あり）

ありがとうございます。

（3）その他

【長谷部部会長】

では、続きまして「議題（3）その他」に入りたいと思います。

最初に、資料9につきまして事務局からご説明いただきます。

〔阿部海事振興部次長から平成29年度の船員部会開催予定日（案）について説明〕

【長谷部部会長】

ありがとうございます。

今なら開催予定日を変更することは大丈夫ですか。

【高橋（真）部会長代理】

11月ですが、これまでの船員部会の開催日に合わせて毎週金曜日の午後は予定を空けるようにしていたのですが、水曜日の開催となると、既に大学の授業の予定が入っています。また、11月は最賃部会が入ることも考えられるので、できれば変則的ではなく、原則どおり金曜日に開催していただくと助かります。

【長谷部部会長】

いかがですか。

11月の第4金曜日は何でだめなのですか。

【阿部海事振興部次長】

飛び石連休の間なので、休みを取りたいという方もいらっしゃるのかなと思いました。

【長谷部部会長】

皆さん、いかがでしょうか。

【阿部海事振興部次長】

もう1週早めるということもあると思います。11月24日ではなくて17日するとか。

【長谷部部会長】

皆さん、どうですか。強い反対がなければ、1週間前ということでもよろしいでしょうか。

【阿部海事振興部次長】

では、今の段階では11月は17日金曜日ということで、提案させていただきます。それで、ご都合が悪ければ改めてご連絡いただいて、調整の必要があるようであれば次回の船員部会でまた修正提案させていただきます。

【長谷部部会長】

では17日ということですね。

【阿部海事振興部次長】

はい。11月は17日金曜日ということで。

【長谷部部会長】

ほかにございますでしょうか。

【平岡使用者委員】

開催時間についてですが、地元に戻るのが遅くなるので、開始時間が少しでも早いと助かります。忙しくて大変だと思いますけれども。

【長谷部部会長】

3時半からを3時にするとか。

【平岡使用者委員】

少しでも早いほうが……。

【長谷部部会長】

強い反対意見はありますか。

【高橋（雅）労働者委員】

特に意見はありません。

【阿部海事振興部次長】

例えば午後1時半とかというのはどうでしょうか。

【長谷部部会長】

宮古からいらっしゃる森先生は大丈夫ですか。

【森公益委員】

大丈夫です。

【長谷部部会長】

どうですか。大学が一番きついかもしれない。

【高橋（真）部会長代理】

開始が3時半だと3コマまで終わらせてから来られますが、1時半開始になると3、4、5コマと3つつぶれることになるので、厳しいです。

【阿部海事振興部次長】

そうすると、3時というのも厳しいわけですね。

【高橋（真）部会長代理】

3時だと開始時間に間に合わないかと思います。

【阿部海事振興部次長】

そういった理由があって、開始時間を3時半にしたのでしょうか。

【長谷部部会長】

これまでの歴史があります。

【高橋（真）部会長代理】

前は1時とか1時半でした。終わってから大学に戻るという話になると、毎回はここに来られなくなる。

既に大学の時間割が3時半開始を前提に作られているので、今から動かすとなると問題が出てくる。もう少し早い時期に言ってもらえれば……。

【阿部海事振興部次長】

申し訳ありませんが、とりあえずは例年どおりでいかがでしょうか。来年度の検討課題とさせていただきますと思います。

【長谷部部会長】

早めに、自発的に話しただくということでよろしいですか。ご了解ください。では、3時半開始ということで、またこれで行かせていただきます。ご不便をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

ほかにございますか。

では、この案で一応ご了承いただいたということで、先に進めたいと思います。何かありましたらまた来月相談しましょう。よろしくお願いいたします。

それでは、次に委員の皆さんからの情報提供です。

最初に、森先生から学校関係の資料を提供していただきました。大変ありがとうございました。森先生、ご説明方よろしくお願いいたします。

【森公益委員】

この裏表1枚物の資料は、海技教育機構に所属する宮古校を含めた8校全体の求人状況と就職内定状況になります。

まず、カラフルな「年度別求人状況比較」を見ていただきます。

これは各年度の1月1日付けの数字を上げております。

まず、左上の表ですが、外航部門、内航部門、タグ・作業船、旅客船に分けております。「外航労務協会」と「その他外航」はほとんど海技大学校で三級を取得する子の求人になります。「内航3団体」を含めこの3つは昨年度よりも求人数が少し減っているという状況です。「その他内航」、「タグ・作業船」、「旅客船」が昨年度よりも約10%~17%ぐらい増えているという状況です。

下のグラフですが、赤い色が今年状況になります。既に昨年の最終統計の928人を上回り、976人となっています。これからは昨年と同じような横ばい状態で推移するのではないかと思います。というのは、3月1日から次年度の求人が始まりますので、企業さんのほうは次の年の求人のほうも考えておられるんじゃないかなと思います。海技教育機構全体で420名定員ですが、全体で976名の求人が来ているという状況です。

次に裏面になりますが、就職の内定状況になります。左側の上の表が今年の29年1月1日現在、左の「卒業予定者」が今年の卒業予定者になります。次の欄

「進学予定者」が、その卒業予定者のうち進学を希望している学生ということになります。「本科」校、いわゆる高校を卒業と同等の学校が23名進学、「専修科」校、宮古校も含めまして、短期大学校になりますけれども3校ありまして10名が進学を希望しております。この合計の33名は、ほとんど海技大学校の三級課程に進学するという状況です。

太枠で囲っていますが就職希望者、卒業予定者のうち進学予定者を引いた数になります。トータルで363名が就職を希望しています。そのうち右の欄が内定者、内定率になります。

未定者がトータルで31名おります。ただ、これは内定が出ていないだけで、きのう現在でほとんど決まっています、未定者は1桁の数字です。

その左側の一番下のグラフが、全体の合計のグラフになっています。右側の一番上が本科、これは小樽、館山、唐津、口之津の4校で、高校と同等の学校です。次が専修科で、宮古、清水、波方の学校になります。その下が海技大学校です。今年も大体98%以上、100%に近い就職率になるのかなという状況です。

以上です。

【長谷部部会長】

ありがとうございました。

何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

【澤村船員労務課長】

すみません、括弧書きは女子ですか。

【森公益委員】

これは女子の数で、内数です。

【長谷部部会長】

ありがとうございます。

何かございますか。よろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

森先生、ご提供どうもありがとうございました。

卒業生の供給状況はもうほぼ満杯だということでした。

次に事業状況を含めて、労働者委員のほうから何か情報提供がございましたらお願いします。

【高橋（雅）労働者委員】

それでは、私のほうから。

以前漁業取締船の仲裁あっせんの件で報告していましたが、宮城県労働委員会から仲裁の裁定が出て、12月22日に交付されました。内容は、基本給のベースアップ500円の実施を28年度の4月1日から実施するということです。

あと、会社が求めていた60歳以上の経験加給の停止については、29年の1月1日から実施という裁定が下りております。それを受けて、きのう会社と交渉しまして、これについては合意しております。

以上です。

【長谷部部会長】

ありがとうございます。

何かご意見、ご質問ありますか。よろしいですか。（「はい」の声あり）

ほかにございますでしょうか。

【津田労働者委員】

今年1月10日に、水産研究・教育機構の要請により、初めて漁船によるトビイカの指名調査事業ということで、八戸港を出港しております。漁船の内訳は、大型イカ釣り1隻と中型イカ釣り1隻の2隻が出港しており、3月10日入港予定になっております。

調査終了後、展望や最新の調査結果を報告するシンポジウムなども開催する予定となっております。

今年イカの不漁ということで、今回漁船による本格的な漁場の開発、また資源の調査のため出港しており、フィリピン、台湾沖の公海上の調査になっております。

以上です。

【長谷部部会長】

ありがとうございます。

それ以外にございますか。

【高橋（雅）労働者委員】

中国漁船について、水産庁が調べた日本の排他的経済水域に接する北太平洋公海上の隻数ですが、昨年4月から12月16日までの漁業取締船が視認した隻数が288隻でした。前年の同時期の194隻と比べ100隻くらい増えているということです。一番多いのがイカ釣りです。そのほか、サバを対象としたランプを使っての引き網の操業漁船が目立つということでした。その288隻の中から、北太平洋漁業委員会が未登録の船を67隻視認したということでした。

【長谷部部会長】

このまま続くと、資源問題はきつくなりますか。

【高橋（雅）労働者委員】

そうですね。現に東シナ海のほうでは、だいぶ前に中国の虎網漁船が操業していきまして、サバ等明かりに集まる魚を全部一網打尽に獲ってしまいました。それで東シナ海のほうの漁が薄くなってきたので、今度は漁の多いこちらの東北というか北太平洋のほうに回ってきているというのが実情です。

【長谷部部会長】

わかりました。

そのほか、何かありますか。

【齋藤使用者委員】

今のご意見、我々も中国漁船の行動というのは非常に懸念するところです。日本の漁獲は今現在500万トン割っています、向こうは6,000万トン以上獲っています。そういった中で今言われたトビイカも非常に向こうの船が得意なわけで、我々の船と漁場でも競合します。未登録の漁船であったり、また、今言った報告

されている漁獲量もどこまで本当なのか、未報告の漁獲もあるだろうと思われ
ます。非常にその辺が懸念されます。

去年は、今全日海さんが言われたようにイカが非常に不漁だった。秋サケ、タ
ラも不漁だったそうですね。カツオ、サンマもそうですよね。中国漁船のサンマ
漁業への参入というのは、恐らく6年か7年ぐらいだと思いますが、既に5万ト
ン以上獲っているということで、日本の漁獲の約半分ぐらいにはもう追いついて
いるなど、非常に海が危ないというような不安は持っています。

【長谷部部会長】

ありがとうございます。

ここで資源ナショナリズムの話をしてもしようがないですけども、今後いろ
いろ問題になるかなと思ったものですから、現場の方々からお話をお聞きしまし
た。ありがとうございました。

ほかにございますか。

【平岡使用者委員】

2月15日に東北運輸局主催で、秋田県立男鹿海洋高校にて日本内航海運組合総
連合会の藤岡審議役を講師に招いて、出前講座を実施していただくことになり、
ありがとうございます。この学校は、陸上に勤務する生徒が多い学校なので、1
人でも船員になっていただければと思います。澤村課長、よろしく願いたし
ます。以上です。

【澤村船員労政課長】

その出前講座に関してなんですけれども、先ほど平岡委員から言われましたけ
れども、2月15日開催ということで、事前にプレスも投げ込みしたいと思ってお
ります。今おっしゃられたように、なかなか内航船含めまして船員さんに目を向
けてもらえるというかそういう機会がなかったものですから、専門の講師を派遣
して、そういう周知を図っていきたいと思っております。

【長谷部部会長】

全体的なためにも、どうぞよろしくお願いいたします。

そのほか、ございますでしょうか。

ほかになければ、本日の議事を終了とさせていただきたいと思います。

次回の船員部会は2月24日の15時30分から、会場はここ4階会議室で開
催いたします。

◎閉 会